

星のたより

2024(令和6)年
10月号
Vol. 361

どうなる？ 紫金山・アトラス彗星

～肉眼で見える？～

今年一番の注目天文現象「紫金山・アトラス彗星」が、太陽への接近を終えて夕方見られるようになってきます。「肉眼で見られるくらい明るくなるのでは？」と言われていましたが、「太陽に接近した時に消滅する」という説や、「明るさがマイナス等級になる」という説まで、さまざまな情報が出ています。彗星の明るさや見え方の予想はとても難しいことがよくわかりますね。

宇宙ふしぎ探検「紫金山・アトラス彗星を見よう」：10月19日(土) 18時～20時
見える位置が低いので、園地で観察します。

スーパームーンを見よう

～アストロ出前観察会を

鳥取市役所で開催します～

「中秋の名月」の観察会に引き続き、スーパームーンの観察会を鳥取市役所 7階展望ロビーでおこないます。これはさじアストロパークが取り組んでいる「届けるサービス」の一環で、今回で5回目の出前観察会となります。月の見え方の仕組みの説明と、望遠鏡での月の観察をおこないます。

日時：10月17日(木) 18:30～19:30

場所：鳥取市役所7階・展望ロビー（鳥取市幸町71番地）

参加費：無料 定員：30人（事前予約。さじアストロパークへご予約ください）

※鳥取市役所1階東側ロビーにお集まりください。

お車でお越しの方は、鳥取市役所駐車場をご利用ください。（無料処理あり）

イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。

公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「鳥取市さじアストロパーク30年の歩み」7月18日(木)～12月1日(日)
オープン以来30年間に起きた出来事や天文現象などの展示です。

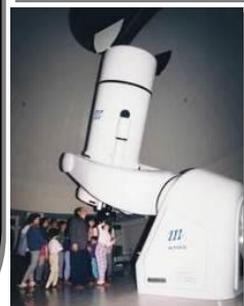
☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 テーマ番組「30周年記念番組」7月18日(木)～12月1日(日)
宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム
プラネタリウムでチコちゃんに叱られる！2

☆夜間観望会☆ ☆10月のテーマとおすすめ情報

満天の星と球状星団 M2	4(金)、5(土)
月、土星	11(金)～13(日)
アンドロメダ座の二重星アルマク	18(金)、19(土)
満天の星と球状星団 M2、M15	25(金)、26(土)
観望会で満天の星が楽しめる	1(火)～6(日)、8(火)、9(水)、20(日)、 22(火)～27(日)、29(火)～31(木)
観望会で月がよく見える	10(金)～14(月・祝)、17(木)、18(金)
宇宙ふしぎ探検「紫金山・アトラス彗星を見よう」	19(土)

☆10月の休館日 7(月)、15(火)、16(水)、21(月)、28(月)

☆今月の豆知識☆
① へんけいが目印の秋の星空。明るい星が少ないから星座を見つけるのに苦労するね。今年は土星が「みずがめ座」にいたので、「この辺りがみずがめ座か…」という感じで、大体の目印にはなるけど、惑星は少しずつ星空の中を移動して行くんだよね。来年は少し東に移動してうお座のあたりに行っちゃうね。



プラネタリウム & 天体観察会

～ 「星取県」で昼も夜も星空満喫 ～

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。

後半のテーマ番組は「30周年記念番組」を上映中でーす！

日・水・金曜日の投影番組は・・・
「宇宙なんちゃら こてつくん」

火・木・土曜日と祝日の月曜日の投影番組は・・・
「プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる2」

30周年記念番組の投影期間は、12月1日(日)までです。

投影される曜日を確認してご来館ください。



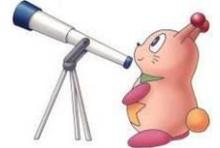
© S/02

「チョコちゃんに叱られる！」 © NHK

プラネタリウム・天体観察会
どちらも定員40名で実施中

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

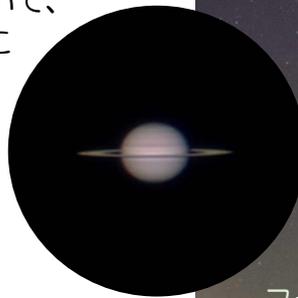
103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」で、見ごろの天体を観察しています。月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。平日及び日曜日のご利用については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



10月の注目天体情報

☆ 秋の四辺形と土星

秋の星座をさがすのに役に立つ星の並びが「秋の四辺形」です。ペガサス座の馬の胴体になっているので別名を「ペガサスの四辺形」とも呼びます。この四辺形の西側の2つの星を下(方角では南)に伸ばすと、秋の星座の星では唯一の一等星、みなみのうお座のフォーマルハウトが見つかります。しかし今年は少しようすが違います。途中にフォーマルハウトと同じくらいの明るい星があるのです。この星は惑星の土星です。土星は太陽の周りを30年で一回りして、星座の中を30年でめぐります。ということは、さじアストロパークがオープンした年にもほぼ同じ場所に土星が見えていたこととなります。天体観察会では人気がある天体ですので、この秋は土星を望遠鏡でじっくりとご覧ください。



☆ フォーマルハウト(みなみのうお座)

秋の頃に南の空でポツンと輝く様子から、「秋の一つ星」「南の一つ星」などと呼ばれます。フォーマルハウトとは、アラビア語で魚の口という意味があり、みなみのうお座の魚の口で輝いています。地球からの距離は25光年と比較的近い距離にある恒星です。表面温度は9000℃位と太陽よりも高温です。

宇宙ふしぎ探検「紫金山・アトラスすい星を見よう」

明るくなると予想される「紫金山・アトラスすい星」を観察します。すい星は見る機会が少ないと思いますので、ぜひこの機会に見てみてください。

すい星とすい星の尾の正体

すい星は英語で「コメット」と呼びます。語源は「長い髪の毛」というラテン語が元になっています。日本では、その姿がほうきの先のようなことから「ほうき星」の名で親しまれています。すい星の特徴である長く美しい尾を表現した名前です。すい星という天体は、主に氷^{こおり}でできています。そのなかにチリもたくさん含まれていて、太陽に近づくと、熱^{ねつ}によって溶け出し、内部から激しくガス^{はげ}を吹き出します。すい星の尾には2種類あります。まっすぐのびた青いガス(イオン)の尾と、少しカーブした幅の広いダスト^{ちり}(塵)の尾の2種類です。イオンの尾は、太陽風に流されて太陽とは反対の方向に細長く伸びます。ダストの尾は、太陽の光の圧力を受けて太陽とは反対の方向に伸びます。太陽に近づくほど尾は伸びていき、長いものだと数億キロメートルに達します。最も長い尾のすい星は、1996年に発見された百武^{ひゃくたけ}すい星で、長さは5億7000万kmもありました。



紫金山・アトラスすい星



紫金山・アトラスすい星は、明るくなると予想されています。そのすい星が、今太陽に接近しつつあります。その為、これから見ごろとなります。

10月19日(土)に宇宙ふしぎ探検「紫金山・アトラスすい星を見よう」と題してイベントを行います。

日時：10月19日(土)18:00~20:00

料金：一般(高校生以上)600円

中学生以下200円 (入館料・観察料として)

定員：40名(要予約)

備考：すい星を広場で観察したあと、103cm望遠鏡で見ごろの天体を観察します。

観察方法など

すい星はとても淡い天体です。できるだけ街明かりがなく、空が暗いところ(たとえば、さじアストロパーク)で観察しましょう。また、紫金山・アトラスすい星は西の低い^{ひく}ところに見えますので、視界が開けたところで見ましょう。

星空を見慣れていない人にとって、すい星を見つけることはかなり難しいです。写真で見るような尾が長く伸びた姿を想像せず、すい星の位置が書き込まれた図をもとに、予想される位置を丹念に探しましょう。小さな淡い雲のような姿が見つかるはずです。

今回のすい星は、双眼鏡で見るのが一番良いでしょう。

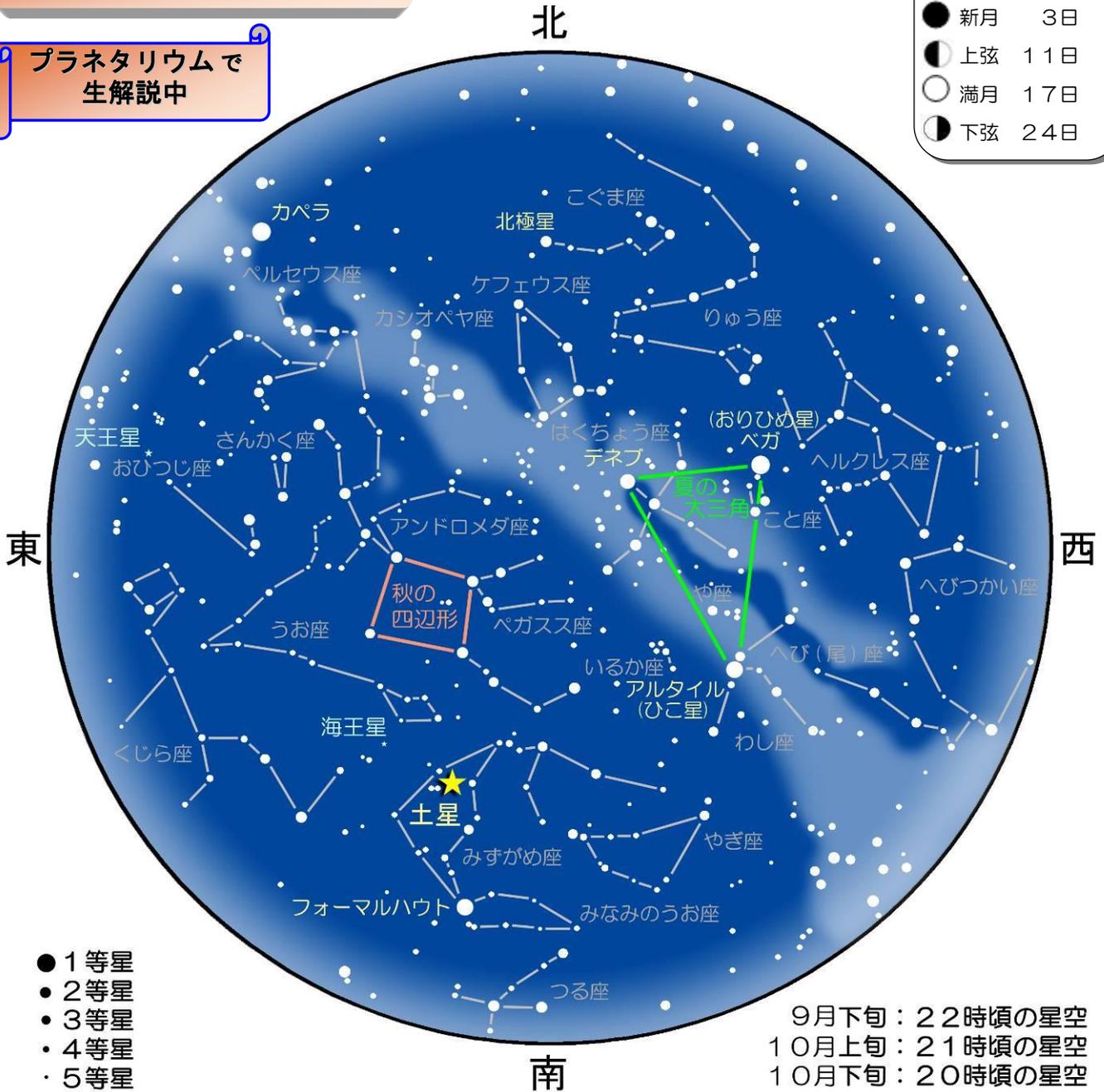


2024年10月の星空

10月の月の暦

- 新月 3日
- ◐ 上弦 11日
- 満月 17日
- ◑ 下弦 24日

プラネタリウムで
生解説中



9月下旬：22時頃の星空
10月上旬：21時頃の星空
10月下旬：20時頃の星空

☆10月になると、例年は夜が肌寒くなって服装もだんだんと厚着になってきます。今年は9月になっても暑い日が続きましたが例年通りの気候となるのでしょうか？

☆星空の方は、地上の暑さ寒さに関係なく例年通りの移り変わりとなっています。西側は「夏の三大星」を中心とした夏の星たち、南から東の空は秋の星空です。3つの1等星でできる夏の三大星はよく目立ちますが、2等星と3等星でできる「秋の四辺形」は少し見つけにくいかもしれません。今年は南の空に「土星」が見えていますので、土星を目印にして秋の四辺形をたどってみましょう。秋の四辺形の北側には、「アンドロメダ座」「カシオペア座」が見えています。カシオペア座の隣の「ケフェウス座」を加えると、ケフェウス王、カシオペア王妃、そしてアンドロメダ姫と古代エチオピア王家の一家が勢ぞろいとなります。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観望会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp